

様式第2（第5条関係）

令和4・5年度期第10回犬山市青少年問題協議会・犬山市青少年センター
運営協議会 会議録

1 附属機関の名称 犬山市青少年問題協議会及び犬山市青少年センター運営協議会

2 開催日時 令和5年12月4日(月)午前10時～午前10時50分

3 開催場所 犬山市役所 202 会議室

4 出席者した者の氏名

(1) 委員：佐々由高、板津克哉、畑竜介、小竹摩記、田島奈生美、深見公子、南谷亜紀、
内藤慎二、松本里美、長瀧貴栄、近藤友貴（11名／11名中）

(2) 執行機関：文化スポーツ課課長補佐 星野弘之、青少年センター所長 梅村淳、
同所相談員 角村利恵

5 報告事項

(1) 第3回犬山市青少年健全育成市民会議役員会（小竹委員）

6 議題

(1) 令和4・5年度期研究のまとめ（冊子）について

(2) 令和4・5年度期研究のまとめ（冊子）の担当分担について

(3) 令和4・5年度期研究のまとめ報告会について

(4) 令和5年度「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」に伴う
「犬山市青少年健全育成推進員と犬山少年補導委員による冬期合同非行防止キャン
ペーン」啓発活動について

(5) 次年度の委員交代について

(6) 3分間スピーチ

(7) その他

7 傍聴人の数 0人

8 内容

(1) 会長あいさつ

・12月（師走）になり、令和4・5年度期研究もまとめに入っていく。体調に気を
付けながら協力して進めていきたい。

(2) 犬山市青少年健全育成市民会議役員会報告

・会議録を基に小竹委員が役員会の内容を報告した。主な内容は令和6年度標語表
彰式の会場変更と令和6年度市民会議総会日程についてであった。

(3) 令和4・5年度期研究のまとめ（冊子）について

・事務局より、研究のまとめ（冊子）の内容についての報告があった。

(4) 令和4・5年度期研究のまとめ（冊子）の担当分担について

・担当分担原稿決めを行った。

(5) 令和4・5年度期研究のまとめ報告会について

・事務局より、報告会の日時と場所の説明があった。

(6) 「犬山市青少年健全育成推進員と犬山少年補導委員による冬期合同非行防止キャン
ペーン」啓発活動について

・事務局よりキャンペーン内容と日程の説明があった。

(7) 次年度の委員交代について

・事務局より次年度に委員交代がある場合は報告をして欲しいと言う依頼があった。

(8) 3分間スピーチ(内藤委員)

・中日新聞の記事をもとにスピーチがあった。記事の内容は少年院の中で発達障が

いの研修を行ったというものである。個々の支援のため、その子の特性を理解したうえで支援していくことで退院後に円滑に社会生活になじめるようにする目的で研修会を実施している。

- ・生活安全課少年係は少年支援のスペシャリストと思われがちだが、実はそうではない。しかし、少年院や鑑別所などにはひとりひとりの内面を見て、よりよい支援をしていくために臨床心理士などの人が関わっている。少年だけに関わるのではなく、保護者にも関わりながら、より良い方向に向かうようにしている。

(9) 連絡・報告事項、その他

①次回の3分間スピーチについて (畑委員)

②本会議の青少年健全育成市民会議での報告者について (深見委員)

③本会議の次回開催予定日は2月9日(金)午前10時から201会議室
臨時会議は開催予定日は3月26日(火)午前10時から201会議室

令和5年 月 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名) _____

(署名) _____